



新富士ロータリークラブ会報

Be a gift to the world
— 世界へのプレゼントになろう —

R I 会長 K.R.ラビンドラン
第2620地区ガバナー 野口 英一
新富士 R. C. 会長 長原 幹
幹事 小山 哲

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎週火曜日
12:30～13:30



第1227回例会 (2016. 5. 17)

司会 川口 平吾会場監督

ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和

R I テーマ唱和

会長挨拶

本日は芹澤ガバナー補佐の2度目の公式訪問です。今年度の反省などを含めて、後ほどお話をいただきたいと思ひます。

5月号のガバナー月信に、2016年規定審議会報告が国際ロータリー第2620地区代表議員の積惟貞氏の報告の記事が載っていました。

4月10～15日にシカゴのマリオットホテルにて2016年 R I 規定審議会が開催されました。代議員534名が集まって、181立法案が検討されました。

その中味ですが、クラブの運営について2項目が大きく変わりました。その一つが、クラブの例会の開催数に関する事項で、月に2回以上の例会を開催する限り、例会回数についてはクラブの裁量を与えることとなりました。

もう一つは、会員の身分についてです。現行の R I 定款から会員資格6項目を全て削除し、「職業上および地域社会でよい評判を受けており、地域社会および世界において奉仕する意欲のある人」という簡潔な会員資格となりました。

その他では、人頭分担金の増額で毎年1ドル増加を4ドルにすることです。また、入会金の明記を削除されました。これは、若い会員を増強するための障害をなくす理由からのようです。

ロータリアンを如何に増やすための改変と思われますが、時代に見合ったロータリーの変革が R I でも少しずつ進行しているように見えます。

この立法案は平成28年7月1日より施行されますが、実施はいつから始まるか私は分かっていません。新会員を増やすのにネックになっている会費、例会回数ゆえ、できるだけ早く実施すべきと、わたしは思ひます。

先週、ある件で有志による会合を持ちました。その件につきましては、15分で難しい、無理との結論になりました。情報とか内容が共有できれば誰でも判断できますので、共有が大切という事が分かりました。そして残りの1時間15分を、今後の運営について活発に意見が出て、私にとっては有意義な時間を持つことが出来ました。内容をまとめ、新会長へ説明させていただきましたので、今後の運営に少しでも役に立って頂ければ嬉しいことです。



ゲスト

国際ロータリー第2620地区静岡第3分区

ガバナー補佐 芹澤 貞治様

事務局長 植松 正様



ゲストの紹介
赤淵浩雄副会長



ガバナー補佐
芹澤貞治様



事務局長
植松 正様

幹事報告

①例会臨時変更のお知らせ

・富士宮西 R C 6/24(金) 夜間例会 富士見荘

②5月のロータリーレートは、1ドル=110円

プログラム予定

5月31日(火) 通常例会(卓話)
富士市福祉総務課

古藤一也様

6月7日(火) クラブフォーラム
(来年度各委員会の事業計画発表)

- ③富士市福祉部福祉総務課より、“第66回社会を明るくする運動”実施に伴う協力依頼、並びに推進委員会の開催について 受信回覧
日時：平成28年6月1日(月) 午後1時
会場：富士市消防防災庁舎7階 大会議室
- ④富士市国際交流協会より、平成28年度第1回理事会並びに通常会員総会開催の案内 受信回覧

【理事会】

日時：平成28年6月9日(木) 9:45～
会場：富士商工会議所4階401会議室

【会員総会】

日時：平成28年6月9日(木) 10:30～
会場：富士商工会議所4階402会議室

- ⑤赤十字NEWS 第912号 受信回覧
⑥週報受信回覧 富士宮西RC 富士山吉原RC
富士宮RC 沼津RC



出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1227回	29	19	10		暫定65.51%
第1225回	29	21	8		確定72.41%

《本日の欠席者》

本多 脩身君 坂口 勝一君 久保田元久君
仲澤 千尋君 佐野 昌宏君 鈴木 清久君
和田 三郎君 堀井 健治君 長谷川 勝君
井上 晴雄君

《他クラブへの出席者氏名》

(5クラブ) 本多 脩身君 仲澤 千尋君
和田 三郎君

私のスマイル

- 小山 哲君 ガバナー補佐芹澤様、事務局植松様一年間ご指導ありがとうございました。
- 望月 研一君 先日の囲碁の署名、有難うございました。
- 小串 民義君 芹澤ガバナー補佐の来訪を歓迎します。
- 長原 幹君 芹澤ガバナー補佐さん、新富士の例会に歓迎いたします。
- 長谷川 勝君 先週、週報をお届けした時に「スマイルに」とお預かりしました(長田)。
- 木村 憲司君 孫が富士ニュース杯少年野球大会で準優勝しました。県大会に出場します。
- 赤渕 浩雄君 ガバナー補佐の卓話、楽しみです。
- 稲葉 邦文君 芹澤ガバナー補佐並びに植松事務局長の訪問、大変ご苦労様です。もう少しです、頑張ってください。
- 林 和子君 芹澤ガバナー補佐のご来訪を歓迎いたします。
- 篠原 一恵君 芹澤ガバナー補佐のご来訪を歓迎いたします。
- 高橋 孝行君 芹澤ガバナー補佐のご来訪を歓迎致します。
- 川村 武君 芹澤ガバナー補佐の御来訪を歓迎いたします。



幹事報告
小山 哲幹事



スマイル報告
斉藤寛明親睦委員

ガバナー補佐期末訪問によせて

国際ロータリー第2620地区静岡第3分区
ガバナー補佐 芹澤 貞治

2015-16年度も残り少なくなりました。会長・幹事を始め、会員の皆様には地区・分区に協力下さりありがとうございました。お陰様で、静岡第3分区内多数のクラブが地区目標をクリアしようとしておりますことは、会長・幹事の強い指導力、そして何よりも会員全員の高い目標と努力の賜物の結果と思います。

現在、日本のロータリーでは数多くの悩みを抱えているクラブが多数あり、多くのクラブの指導者も悩んでおります。その答えが、先の地区大会第一日目での講演にあると思います、紹介したいと思います。講師は、2013-15年度RI研修リーダー 小船井修一氏の内容です。

その時代、当然とされていた価値観などが劇的に変化することを「パラダイム・シフト」と言います。最も典型的なのが、「天動説」から「地動説」に転換した事であり、近代においては産業革命が最大のパラダイム・シフトであります。

さて、つい15年前までは通勤電車の風景といえば、男性は新聞、女性は文庫本や週刊誌、若者はウォークマンでした。今ではほとんどの人が、スマートフォンに変わってきました。スマートフォンは、パソコンと同じ機能を持つまでになりました。

日本の人口は減少を続け、今後50年間で8,674万人になる予測です。企業数も1996年をピークに減少を続けています。商工会の会員も減少に転じ、そして、日本のロータリー会員数も1996年11月の企業数に合わせ減少に転じ、近年は減少に歯止めは掛かりましたが、増加する勢いはありません。多くの商店が廃業に追い込まれ、シャッター街はロータリアンを失った墓碑のように感じます。

日本のロータリアンの人口密度は、全国的に1,000人当たり7.5人程度です。大都会ほどその人口密度は少なく、人口減小地域は企業も減少し、ロータリーを維持するのも困難な状況が顕著です。

1921年、アーサー・F・シェルドンは、国際大会で「最も良く奉仕をした者が、最も良く利益を得、最も良く生き残れる」と語りました。

ダーウィンは『種の起源』の中で、「生き残ることのできる生物の種族は、最も優れた能力を持った種族ではなく、環境の変化に対応できる種族である」と書いています。

シェルドンとダーウィンの言葉を一つにすると、「最もよく奉仕した者が、最も良く利益を得、そして、最も変化できる者が生き残れる」。

ロータリーの最大の変化は、規定審議会による度重なる規則緩和だと思えます。会員の身分、一業種一人の原則、いろいろな事が変わり

ました。また、Eクラブ、衛星クラブなど新しいカテゴリーの誕生、そして、マイロータリー「クラブ・セントラル」の導入により、R1とクラブの相互情報交換を可能にし、クラブ運営方法論やこれまで常識だと思われていた事も変わってきました。

2015年の国際協議会で、ジュン・ヒューゴRI事務総長は、「永無いロータリーの成功を果たす為に、伝統を見直す事ができますか。高い倫理基準、クラブの多様性といった組織の根幹を築き、ずっと変えるべきでない伝統もあります。リーダーが毎年交代する伝統は強みもありますが、大きな弱点が1つあります。新しい取り組みにおいては、5年~10年かけた継続的な努力が必要です。

クラブ・地区・ゾーンや国際レベルのガバナンスが変わり、その年ごとに方向性が変わる事が本当に良い事なのか、新しいリーダーが前任者のバトンを受け継ぎ、長期的な戦略計画に基づく目標を目指して活動する、会員が参加しやすいクラブを創れば、魅力的な組織となります。」

日本の一部のロータリアンの常識は、今や世界の世論ではありません。ロータリー内の対話も重要ですが、外に向けたコミュニケーションに力を入れる必要があります。地域の一般の人達を対象にした行事を積極的に実施すべきです。ロータリーがどのように見られているか、見つめる必要があります。地域の人が入会したい、と思うようなクラブにするには何が必要か、自問すべきです。地域で認められなければ会員は減少します。事務総長は、「会員はあらゆる地域社会で活動し、地域社会と結びつき、社会貢献をしたいと考える人が、真っ先に思い浮かべ、それと同時に職業人が交流し、生涯に渡る友情を築き、地域社会の優秀な人材がクラブに集い、自分の能力を最大限に引き出せるのがロータリー」と述べました。変化を求めていくことが必要だと言っております。

新世代奉仕が青少年奉仕に変わり、ロータリーの目的の第5項に追加、例会及び出席に関して、クラブ細則により柔軟性・主体性がクラブに任せられ、会員の身分や職業分類に柔軟性が与えられます。

変化に対して「おかしい」と言うことは簡単ですが、今は変化していく時代です。私たち自身がどうロータリーを変えていくか、変化して一番利益を受けるクラブになるのか、決してガラパゴス化しないよう、真剣に皆様お考えください。